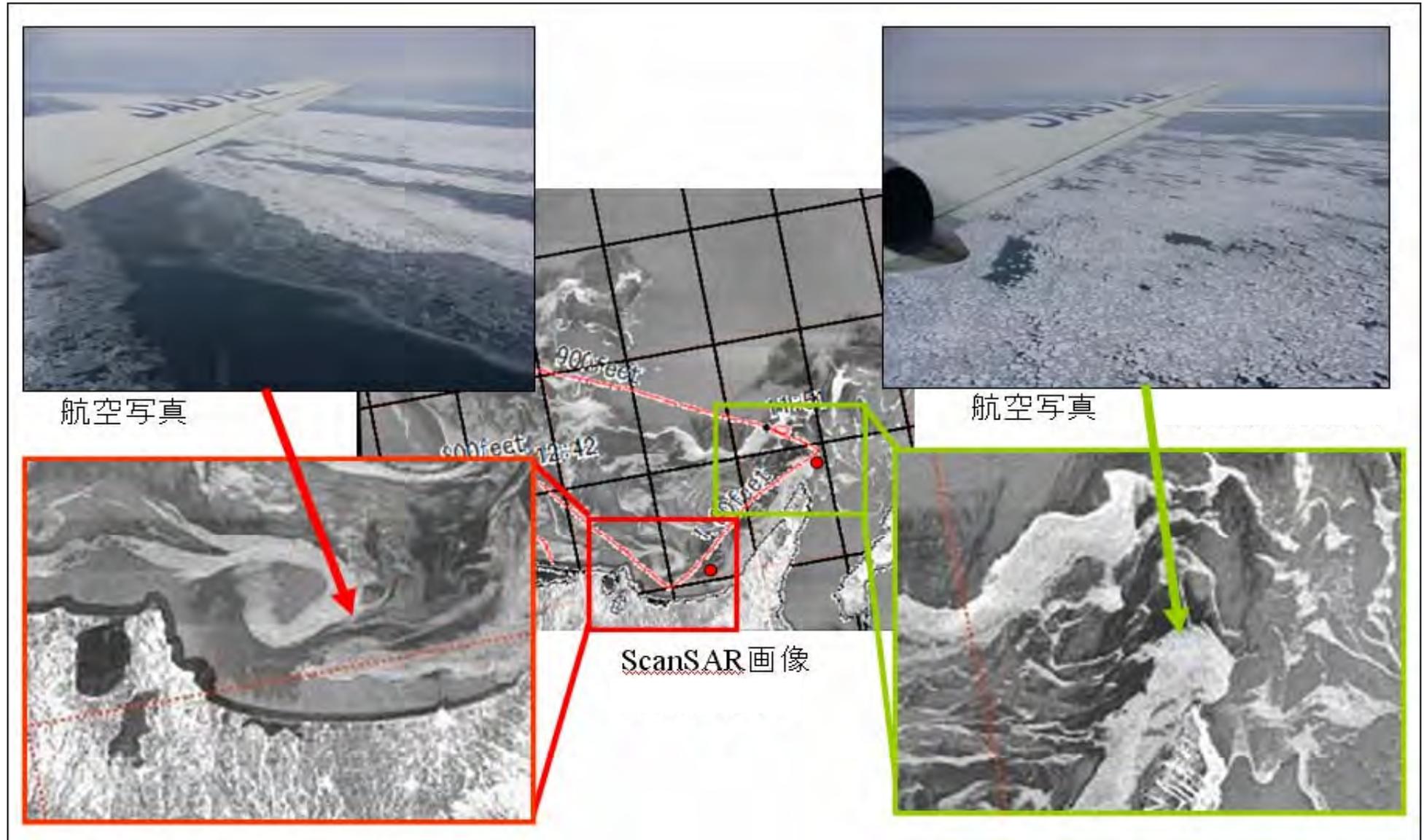


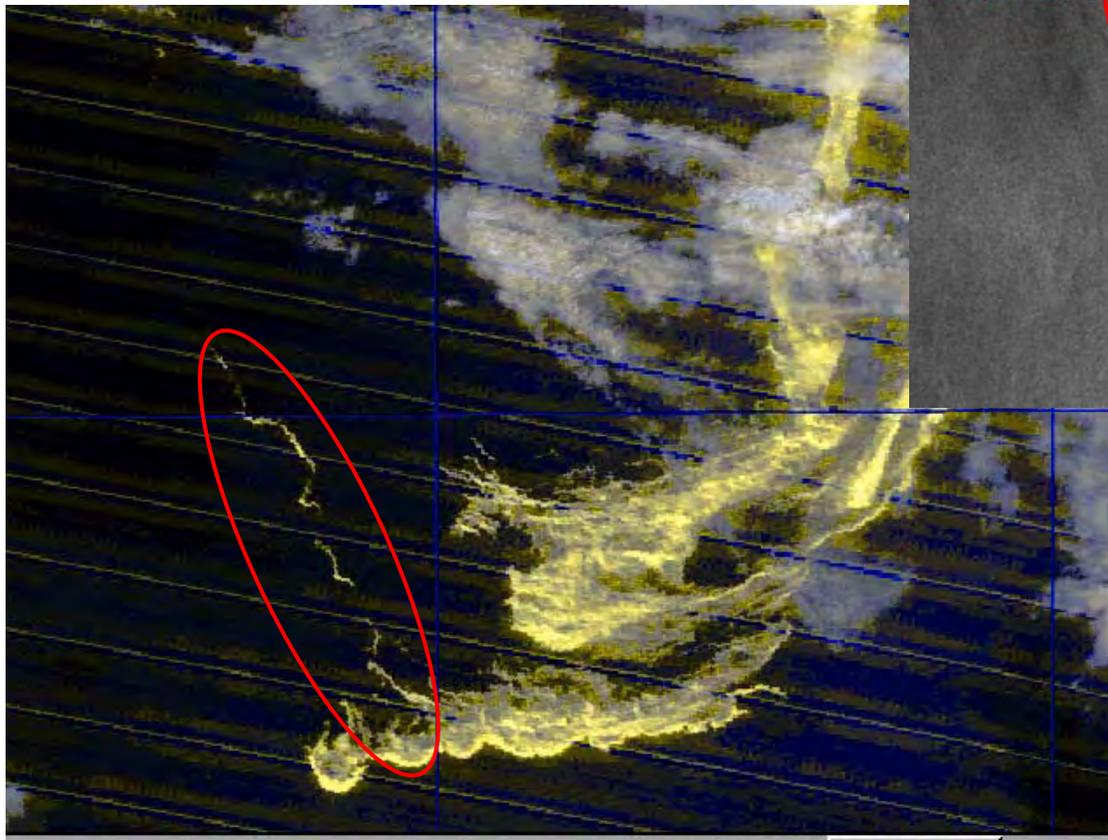
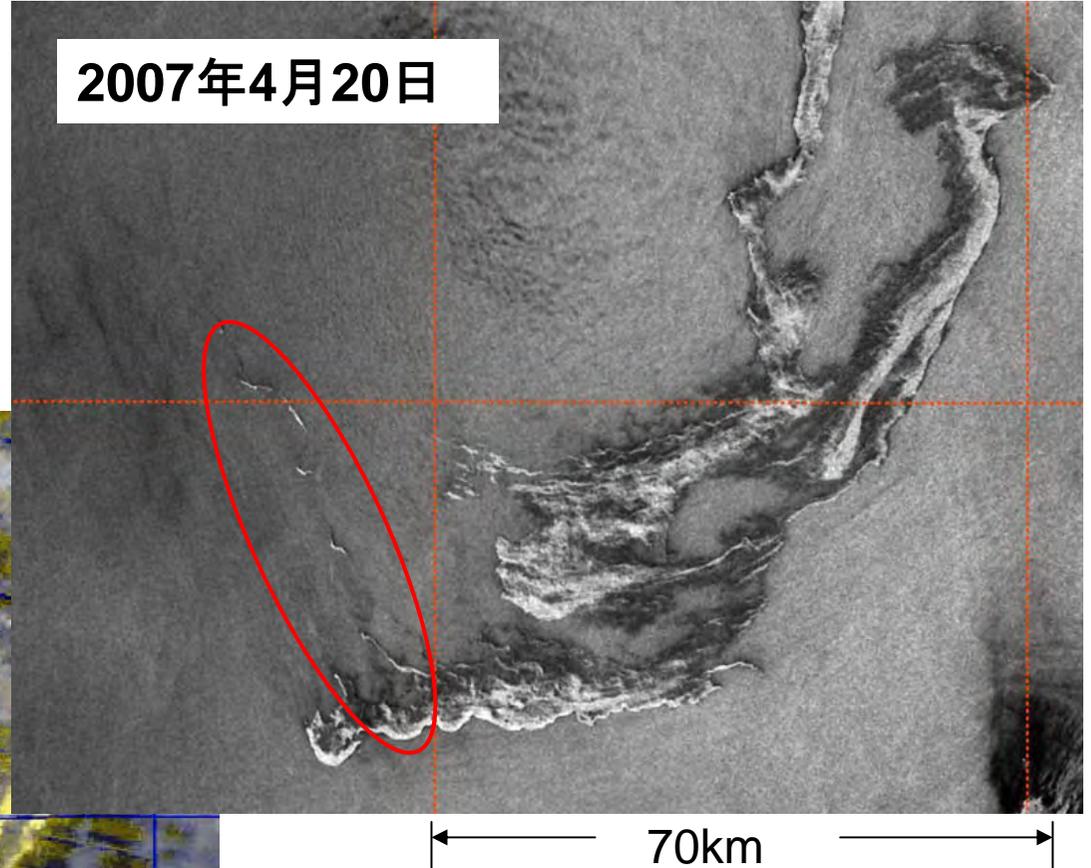
航空機観測による検証



MODIS画像との 比較検証

ScanSAR画像

2007年4月20日



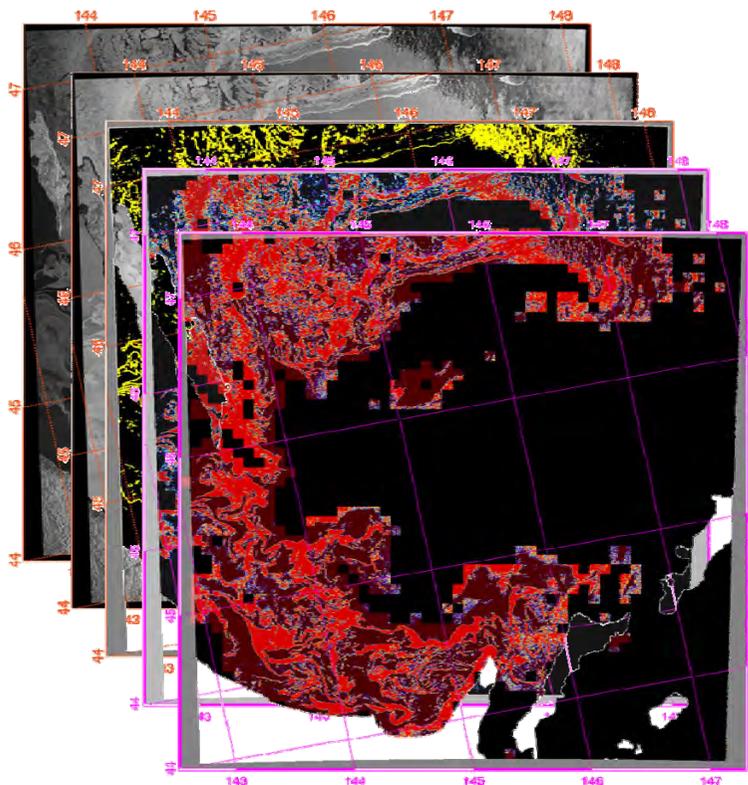
赤で囲った帯状の海氷について、
ScanSAR画像は、MODIS(TRIC)
画像に比較して鮮明度が低い。
薄氷の存在が推定される。

MODIS画像(東海大学衛星技術センター提供)

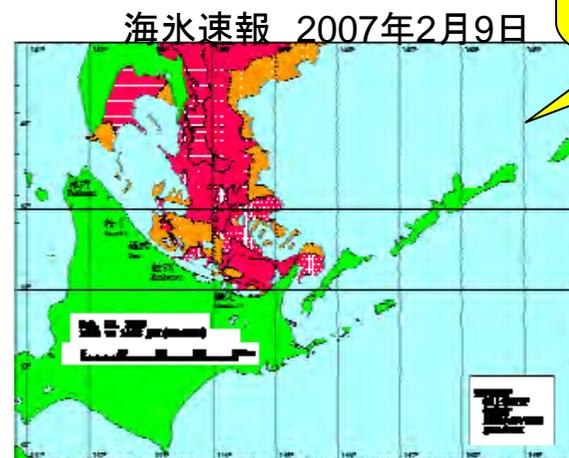
④利用手法の検討

- GISを利用したALOS画像の加工手法の整備
- 実利用の試行

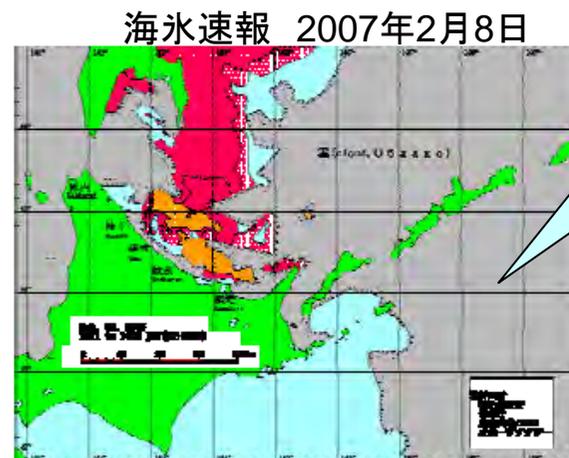
昨流氷期データ配信回数:27回 (内実利用回数:17回)
今流氷期:43回予定



数日に1回
包含区域の一部



ALOSデータの
利点は、
雲を透過



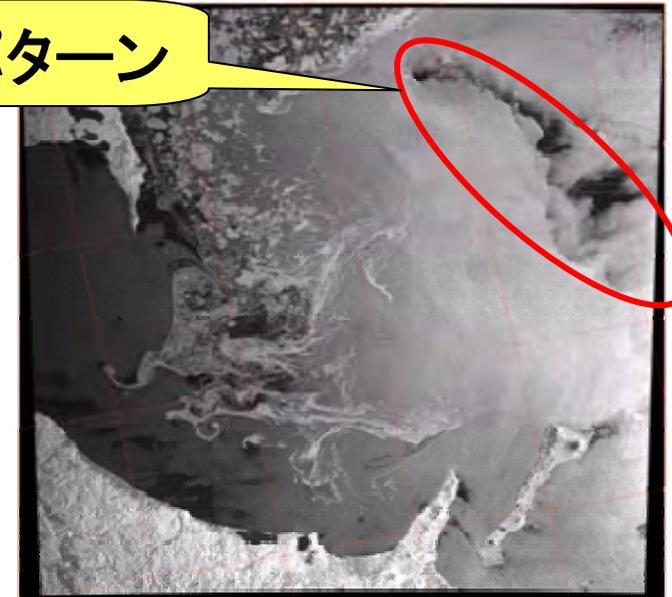
図のグレー
部分は、雲

課題

海水状パターン

■ 風浪に起因する後方散乱輝度差 (海水状パターン) の除去

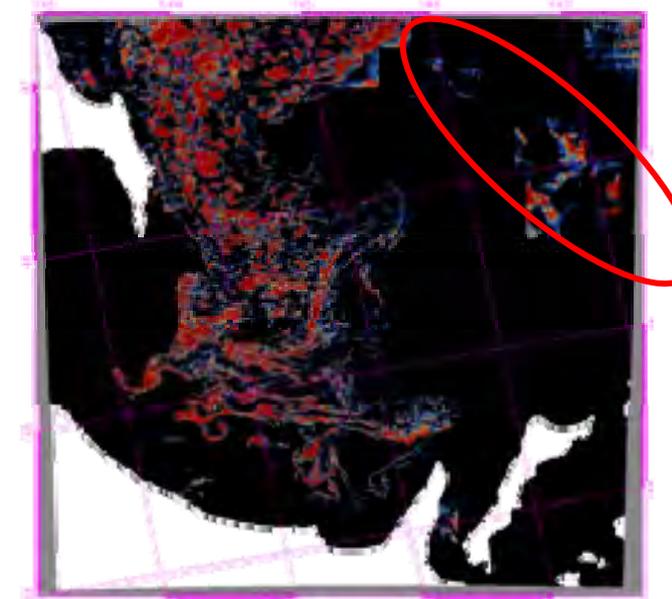
海水状パターンは、非海水域を海水域と誤判定する原因となるため除去が必要.



ScanSAR画像

■ 薄氷域の検出能力の向上

海水の生成過程の初期に形成される薄氷域は、船舶エンジンの冷却水の取水口を塞ぎ航行不能の原因となるため、薄氷域の検出能力向上が必要.



海水密接度画像

JAXAへの期待

- 画像解析手法の高度化による海氷検出技術の確立のための共同研究の継続
- 合成開口レーダのスキャン幅の拡大、低軌道衛星への搭載等による観測頻度の向上